

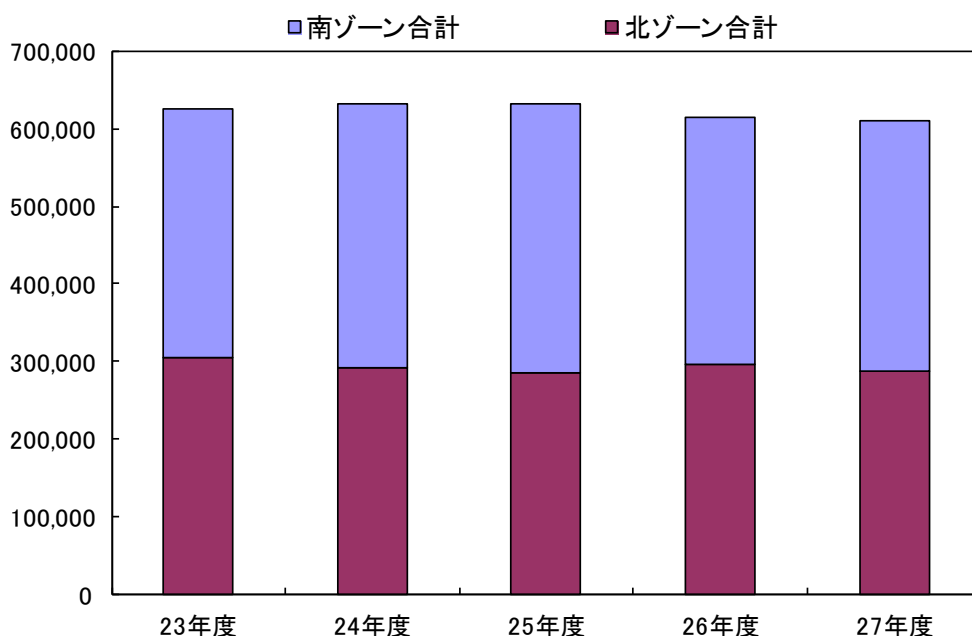
## 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

### 利用者数

平成27年度、宗像ユリックス総合公園の総利用者数は、612,677人（前年度比99.4%）となり、前年度と比較して3,449人の減少であった。内訳は以下のとおりである。

北側施設（北ゾーン）は、一般施設236,917人（同97.8%）、プラネタリウム28,186人（同92.9%）、テニスコート22,107人（同98.6%）となり、北ゾーン全体では289,192人（同97.4%）と7,718人の減少となった。主な要因は4月から6月に行なわれたイベントホールの保全改修工事に伴い貸出不可区分を設定した影響と思われる。

一方、南側施設（南ゾーン）では、アクアドーム利用者数は198,181人（同99.0%）、パットゴルフ4,724人（同93.3%）、ゆ〜ゆ〜プール50,405人（同121.7%）、芝生広場等70,175人（同96.9%）となり、南ゾーン全体では323,485人（同101.3%）と4,269人の増加となった。



	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
本館（図書館を除く）	281,624	269,020	264,383	272,869	265,476
テニスコート	23,542	23,417	20,875	22,431	22,107
プラネ（野外）	923	1,473	944	1,610	1,609
北ゾーン合計	306,089	293,910	286,202	296,910	289,192
アクアドーム	201,388	203,798	201,712	200,266	198,181
パットゴルフ	5,578	5,487	4,738	5,062	4,724
ゆ〜ゆ〜プール	50,855	54,772	55,477	41,430	50,405
芝生広場等	63,054	74,395	85,259	72,458	70,175
南ゾーン合計	320,875	338,452	347,186	319,216	323,485
利用者数合計	626,964	632,362	633,388	616,126	612,677
対前年比	97.3%	100.9%	100.2%	97.3%	99.4%
図書館	307,057	278,006	254,387	235,496	230,683
利用者数合計（図書館を含む）	934,021	910,368	887,775	851,622	843,360

## 施設の利用率<sup>1</sup>

### ■ 3大施設の利用率

ユリックス本館の施設利用率についてみると、3大施設（イベントホール、ハーモニーホール、展示室）については、右表のようになっている。

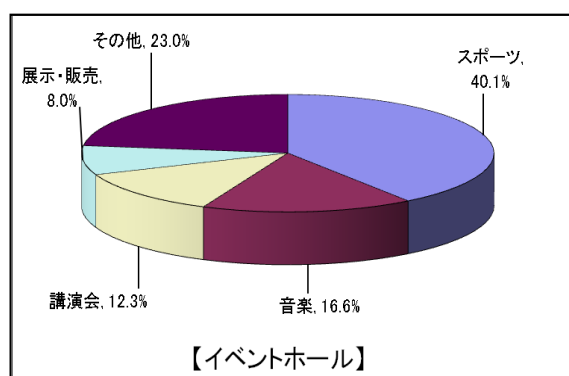
	26年度	27年度	前年度比
イベントホール	75.3%	64.0%	- 11.3%
ハーモニーホール	79.8%	74.2%	- 5.6%
展示室	66.3%	71.5%	+ 5.2%

## 施設利用の内容

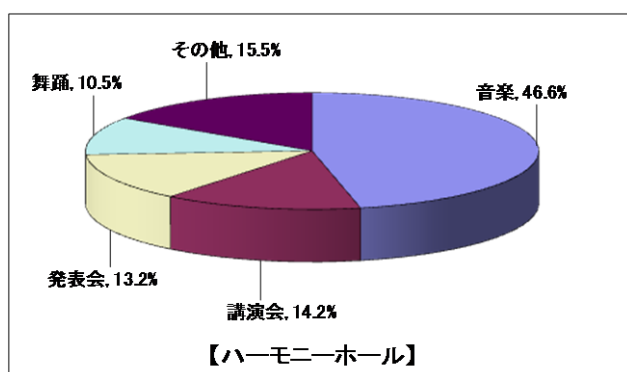
本館3大施設の利用内容別に集計すると次のとおりとなる。

イベントホールは、総件数が187件で前年度に比べ37件減少した。

利用内訳は、スポーツ 40.1%、音楽 16.6%、講演会 12.3%、展示・販売 8.0%、その他 23.0%となっている。前年度と比較して、スポーツ、音楽、講演会など全体的に減少しているが、特に音楽での利用が、15件減少している。



イベントホール	スポーツ	音楽	講演会	展示・販売	その他	計
利用件数	75	31	23	15	43	187
利用割合	40.1%	16.6%	12.3%	8.0%	23.0%	100.0%



ハーモニーホールは、総件数 219 件で前年度に比べ 8 件減少した。

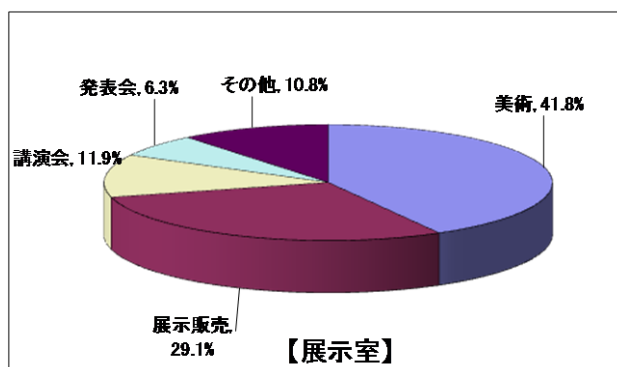
利用内訳は音楽 46.6%、講演会 14.2%、発表会 13.2%、舞踊 10.5%、その他 15.5%となっている。

前年度と比較して、発表会での利用が増加しているが、講演会、舞踊での利用が減少している。

ハーモニーホール	音楽	講演会	発表会	舞踊	その他	計
利用件数	102	31	29	23	34	219
利用割合	46.6%	14.2%	13.2%	10.5%	15.5%	100.0%

<sup>1</sup> 利用率は、開館日のうち貸出3区分（午前：9時～12時、午後：13時～17時、夜間：18時～22時）のいずれかに利用が入っている場合を100%として算出。

展示室は、利用件数が 268 件で前年度に比べ 20 件増加した。利用内訳は美術 41.8%、展示・販売 29.1%、講演会 11.9%、発表会 6.3%、その他 10.8%となっている。前年度と比較して美術、発表会での利用が増加し、展示・販売、講演会での利用が減少した。



展示室	美術	展示販売	講演会	発表会	その他	計
利用件数	112	78	32	17	29	268
利用割合	41.8%	29.1%	11.9%	6.3%	10.8%	100.0%

その他、会議室、和室等の貸出施設については、本館内に事務所を持つ宗像文化サークルの講座に多く利用されたほか、会社の面接会場、会議、研修や自主サークル団体の活動の場として利用された。

## その他の取り組み・施策

顧客のニーズに対応するための「夜間有料学習室」、舞台の空き区分を活用した「舞台上で気軽にピアノレッスン」などのサービスアップに取り組んでいる。

### ●夜間有料学習室

個人の勉強の場として、17:30 から 21:30 の時間帯で、1 席 100 円（7 月から 9 月、12 月から 3 月は空調代を含んで 200 円）で貸し出した。年間利用者数は 1,742 人で、前年度と比較して 391 人減少した。売上は 265 千円となった。

#### <月別利用者数>

(単位：人)

月度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	112	215	188	151	125	156
月度	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	120	160	96	141	200	78

### ●舞台上で気軽にピアノレッスン

ハーモニーホールの舞台上でコンサートピアノを使った練習が 1 時間 3,000 円という料金でできるという企画である。平成 27 年度は年間 13 日間、143 利用枠に対し 128 利用枠の実績である。利用率が 89.5%(前年 50.3%)と大幅に増加した。ピアノ教室の講師などのプロピアニストから趣味としての愛好家まで幅広い層に支持されており、利用者の定着のため、メルマガ配信も行なっている。

## 公 1、収 1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

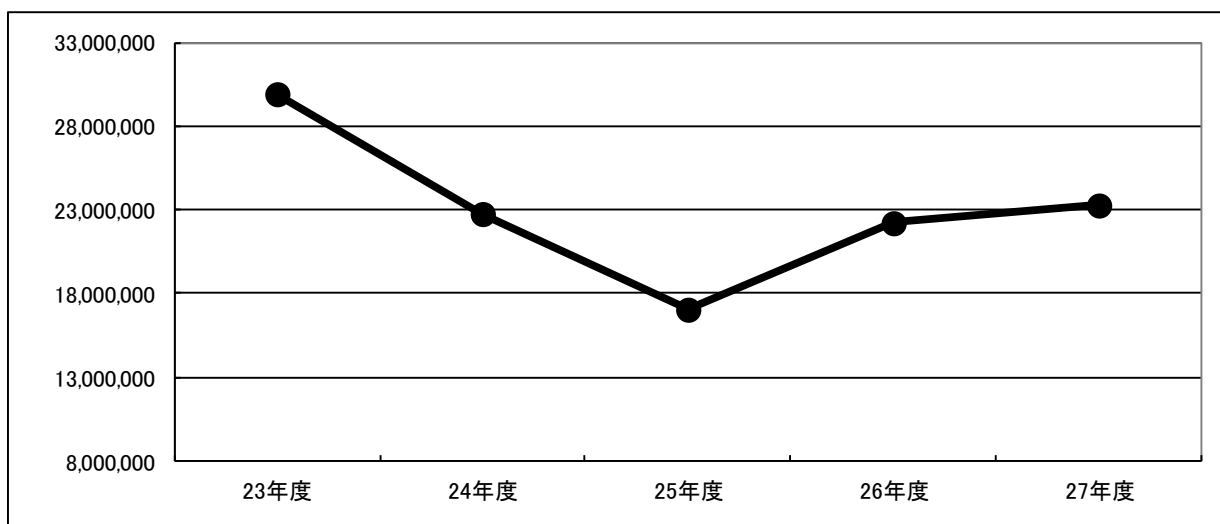
### 施設管理

本年度もお客様が安全、快適に施設を利用できるように施設管理に努めた。ユリックス開館後 27 年目となり、市の保全工事との調整を進めるとともに、設備や機器の老朽化に伴う修繕が増えてきている。ハーモニーホール客席修繕や監視カメラの取替などの更新・修理を行った。

10 月と 4 月に実施した防災訓練においては、初期消火設備の確認やアクアドームの避難誘導訓練を重点的に実施した。

宗像市が実施している保全工事については、イベントホールの床研磨、トイレ改修工事、アクアドーム屋根改修、本館の電気設備改修工事が実施された。特に本館については、営業を行ないながらの工事のため、ご利用者と騒音との調整には苦慮した。

#### [修繕状況]



修繕状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
修繕発生件数(件)	129	105	92	101	122
対前年度比	111.2%	81.4%	87.6%	109.8%	120.8%
対23年度比	100.0%	81.4%	71.3%	78.3%	94.6%
修繕コスト(円)	29,923,555	22,768,586	17,056,927	22,218,978	23,279,194
対前年度比	118.2%	76.1%	74.9%	130.3%	104.8%
対23年度比	100.0%	76.1%	57.0%	74.3%	77.8%

#### [主な改修・修繕（財団実施）]

1	ハーモニーホール客席修繕工事
2	ホール監視カメラ修繕工事
3	排水ポンプ修繕工事
4	わんぱく広場改修工事
5	ドーム空調機器修繕工事
6	トレーニングジム機器修繕

#### [保全改修事業（宗像市実施）]

1	イベントホール改修工事
2	アクアドーム屋根改修工事
3	本館・屋外電気設備改修工事

## 収 2 「利用者サービス事業」

### 取り組み・施策

この事業は、公園内に設置している自動販売機による飲食物販売やアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールでの物品販売及び飲食物販売、イベント時の物品販売、受付での消耗品販売など施設利用者の利便性に資するために行っている。

#### ●自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために自動販売機を設置しており、15～35%を手数料としている。平成 27 年度は 4,108 千円の手数料収入を得ており、今後も手数料率の見直しや販売機の増設などサービスの向上に努めていく。

#### ●物品等販売事業

施設利用者に便宜を供するために雨傘や書籍、切手、宗像市指定ごみ袋、財団主催以外のチケット等の販売事業やお弁当・花の手配代行を行っており、平成 27 年度は 2,105 千円の販売・手数料収入を得た。

今後も顧客のニーズに対応するために新しいサービスを模索していく。

## 公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

### 文化事業／総括

平成27年度主催事業として、古典芸能3、クラシック11、音楽7、演劇6、映画12、美術3、アウトリーチ96、ワークショップ6、その他事業6、合計147事業を実施した。

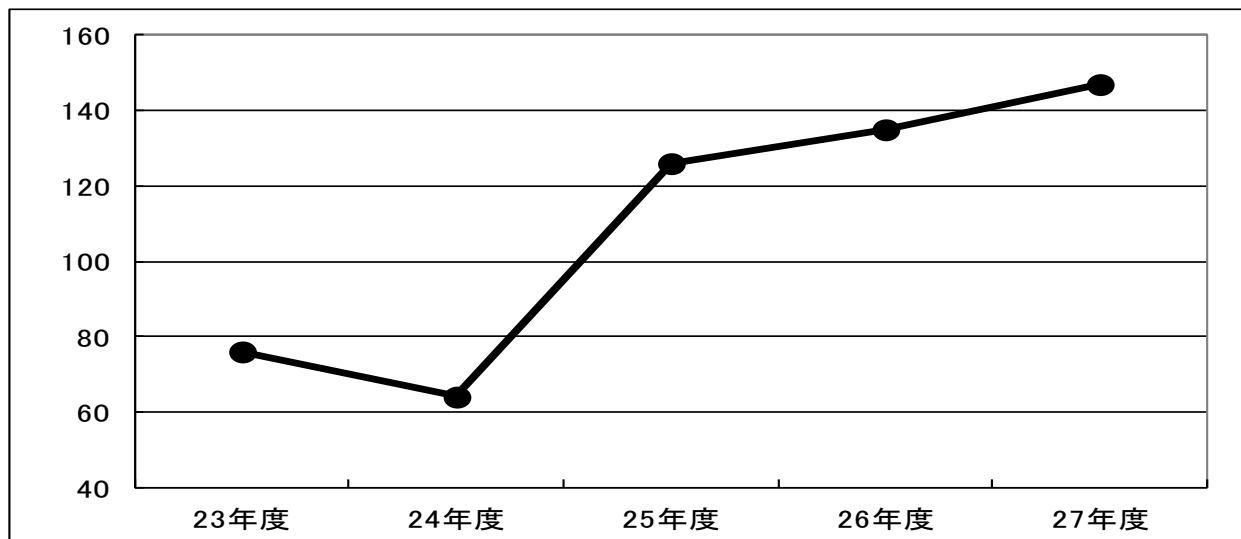
今年度で3回目の開催となる「宗像ミアレー音楽祭」を継続的・発展的に取り組むことが決定し、10月11日・12日の2日間で開催した。入場者数はプレ事業・アウトリーチ事業を含めると、26,004人（前年21,587人）となった。音楽祭を開催する事で、地域の人々の参加と共感を得ることにより、「新しい広場」としての役割を果たすとともに、文化芸術の担い手となる人材の養成と交流による市民文化活動の活性化にも寄与したと考える。また、市内小学生を対象として募集を行い活動2年目となる「ユリックス ジュニアプラス」は29名の団員となり、音楽祭や吹奏楽祭などの様々な機会、子どもたちの爽やかな演奏を披露することができた。今後の大きな成長が期待されている。

「むなかた芸術祭」、「むなかた吹奏楽祭」、「むなかた文化祭」、「むなかた子ども芸術祭」の4事業については、市の文化行政の中核事業であり、市と十分な連携を取りながら、共催事業として取り組んだ。

#### [ 事業本数・ジャンル別 ]

(単位：本)

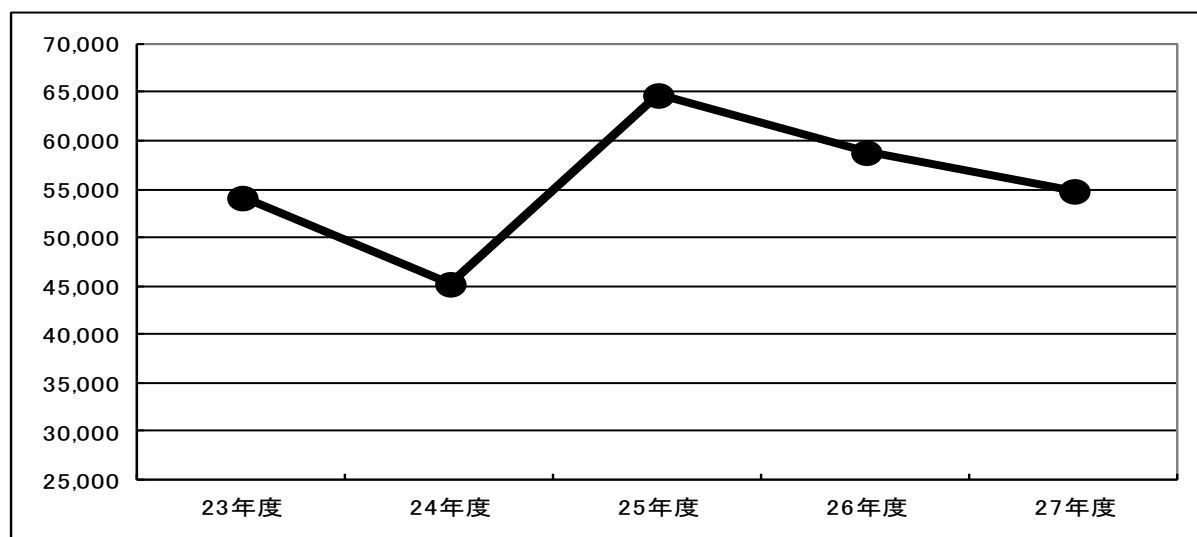
事業ジャンル	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
音楽(クラシック)	11	9	9	10	11
音楽(クラシック以外)	9	6	7	8	7
映画	16	13	16	14	12
演劇・古典芸能	10	8	8	6	6
美術	3	1	3	2	3
アウトリーチ	18	15	71	86	96
その他	9	12	12	9	12
合計	76	64	126	135	147
対前年比	128.8%	84.2%	196.9%	107.1%	108.9%



[ 入場者数 ]

(単位：人)

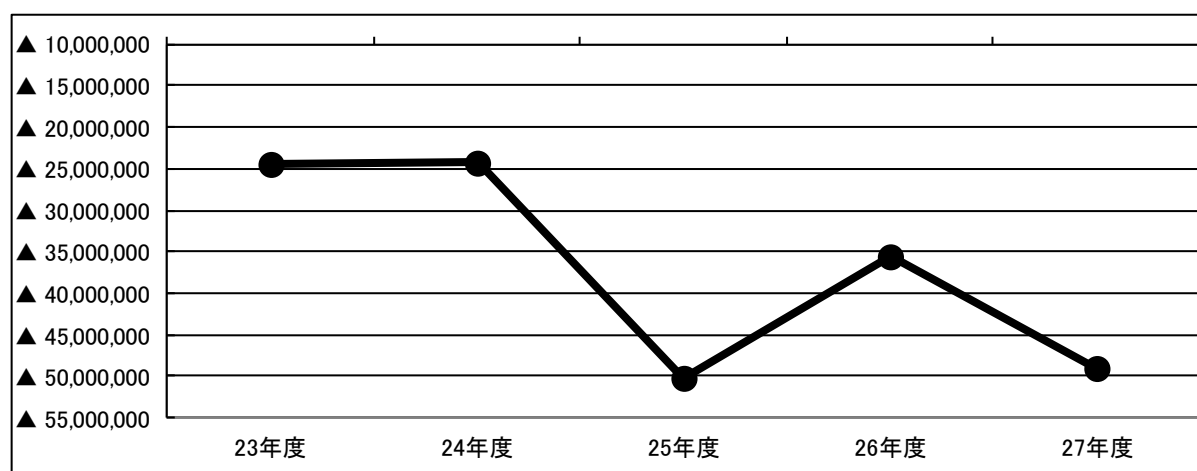
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入場者数	54,110	45,206	64,700	58,788	54,798
対前年比	100.6%	83.5%	143.1%	90.9%	93.2%
対23年度比	100.0%	83.5%	119.6%	108.6%	101.3%



[ 収支状況 ]

(単位：円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収入	53,139,055	39,787,520	83,313,635	60,136,440	55,783,916
支出	77,565,719	64,062,541	133,567,428	95,722,796	104,853,665
収支差額	▲ 24,426,664	▲ 24,275,021	▲ 50,253,793	▲ 35,586,356	▲ 49,069,749



※収入：文化事業費収入—文化事業共通収入

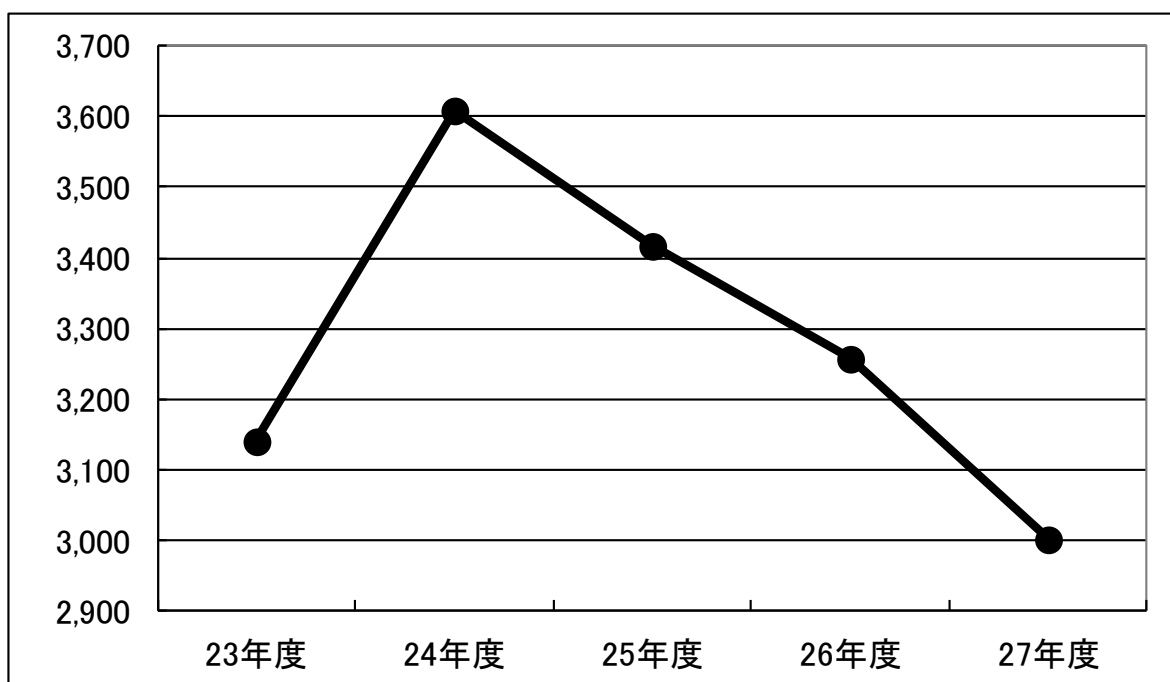
支出：文化事業費支出—文化事業共通支出

[ ユリックス スマイルクラブ（旧ユリックス倶楽部）（友の会）事業 ]

平成 27 年度からは「ユリックス スマイルクラブ」と名称を改め、特典の見直しも行い、会員の皆様にとってより利便性の高い会員制度をスタートさせた。更新初年度は、3,001 人の入会者となり、順調なスタートとなった。

(単位：人)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
会員数	3,140	3,609	3,417	3,257	3,001
対前年比	89.9%	114.9%	94.7%	95.3%	92.1%
対前年人数	▲ 354	469	▲ 192	▲ 160	▲ 256



[ ユリックス スマイルクラブ入会特典について ]

●ユリックス スマイルクラブ特典 □年会費 500 円

☆ユリックス主催事業のチケット料金が 10%引き

☆チケット購入金額 100 円ごとに 5 ポイント付与

☆入会時 500 ポイント進呈

☆ユリックス名画シアター1 作品がいつでも会員料金 700 円

※ユリックス名画シアターのチケットには特典の〈10%引き〉と〈ポイント付与とそのご利用〉ができません。

☆託児サービスが無料 ほか



## 主催事業・ジャンル別

### (1) 宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～

10月11日(日)～12日(月・祝)の2日間で下記事業を開催。

事業名称	出演者	入場者数
【プレイベント】 九管ポップスファミリーコンサート	九州管楽合奏団	1,350人
【プレイベント】 ジャジャジャジャーで始まる！ わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験	指揮とお話：松村秀明 管弦楽：九州交響楽団	818人
九響と散策する名曲の小径 プロムナード1 プロムナード2	指揮：現田茂夫 ピアノ：横山幸雄	532人 334人
福岡教育大学学生と市民合唱団による コンサート	合唱指導：重住千寿香 福岡教育大学音楽専攻学生 ミアーレ・ジュニア合唱団	470人
吹奏楽部学生300人コンサート スペシャルゲスト：ブラックボトムブラスバンド	市内中学高校の吹奏楽部学生 ブラックボトムブラスバンド	1,061人
ミアーレキッズプログラム 尺八&箏 ピアノ&ドラム	山崎箏山(尺八)&宮本直美(箏) 三船優子(ピアノ)&堀越彰(ドラム)	89人
ミアーレキッズプログラム(イベントホール)	R I M 6 v e r s i o n	442人
市民ステージ(トワイライトビアライブ含む)	43団体	3,830人
楽器体験		4,000人
いきいき出前コンサート 市内各所96ヶ所で開催	・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ・九州管楽合奏団メンバーによる金管五重奏 ・白石光隆(ピアノ)他	13,078人
入場者数合計		26,004人

#### 【事業の成果】

- ・生演奏に触れる機会を通じた広く市民への音楽文化の浸透
- ・継続的な文化芸術活動による鑑賞機会の確保とそれを支える仕組みづくり
- ・人材の養成と交流による市民文化活動の活性化

#### 【運営体制】

「宗像ミアーレ音楽祭2015～響きわたれ！おんがくの風」実行委員会を組織し、下記8部会を設置し運営を行った。(平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業「活動別支援」補助事業)

- ・ホールイベント部会   ・アウトリーチ部会   ・ミアーレ合唱部会   ・市民ステージ部会
- ・楽器体験部会   ・野外イベント部会   ・すくすくコンサート部会   ・出店部会

【 宗像ミアーレ音楽祭 2015 画像 】

九響と散策する名曲の小径



指揮：飯森 範親  
ピアノ：横山 幸雄  
管弦楽：九州交響楽団  
音楽監督：今村 晃

1日 2公演

市民ステージ(ホワイエ)



トワイライトビアライブ



市民ステージ (中庭)



楽器体験



【 宗像ミアーレ音楽祭 2015 画像 】

ジュニア・ミアーレ合唱団 ……市内小学生 100 名公募



吹奏楽部学生 300 人コンサート ……市内中学校・高校全校参加



ミアーレキッズプログラム ……約 200 組の親子が参加



## (1) クラシック事業

『ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ』、『華麗なるイタリアオペラの世界』、『プラハ・バロック合奏団&川井郁子クリスマスコンサート』、『森麻季ソプラノリサイタル』など 10 事業を実施した。

『ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ』では公演のほかに、ソロコンサートマスターの日下紗矢子さんによる小学生向けのアウトリーチを実施した。また『華麗なるイタリアオペラの世界』では公演のほかに、出演者であるオペラ歌手とトリノ王立歌劇場で活躍するピアノトリオによるアウトリーチを赤間西小学校で開催するなど、鑑賞型事業だけにとどまらず、子どもたちが海外で活躍する芸術家による演奏に触れる機会と交流の場を設けるなどの工夫を施した。

『森麻季ソプラノリサイタル』は、チケットはほぼ完売状況であったが、折からの寒波の影響で公演日が朝からの積雪等となり、交通機関の乱れが発生した為、来館が困難なお客様への払い戻し対応を行った。

ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ (ホールコンサート+アウトリーチ)



華麗なるイタリアオペラの世界 (ホールコンサート+アウトリーチ)



## (2) 音楽事業（クラシック以外）

『山中千尋ピアノ JAZZ コンサート』、『精華女子高吹奏楽部 吹奏楽&マーチング』、『音楽の絵本 クールブラス』など7事業を実施した。

## (3) 九州管楽合奏団

『九管ポップスファミリーコンサート』、『小学4年生芸術鑑賞モデル事業』、のホール公演に加え、例年同様に楽器クリニックや幼稚園・保育所でのアウトリーチ事業、宗像ミアーレ音楽祭でのミアーレキッズプログラムなどに団員が参加した。

### 九州管楽合奏団 団員による楽器クリニック



## (4) ユリックス ジュニアブラス

宗像市内小学生を対象として団員を募集し、26年4月に団員14名でスタートした『ユリックスジュニアブラス』は、九州管楽合奏団のチューバ奏者・丸田友博氏の指導のもと、ステージでの披露を目指して、毎週火曜日を定例練習日として、熱心な練習を行った。

宗像ミアーレ音楽祭の開会式やむなかた吹奏楽祭など、市の主要イベントで演奏を披露し、市民の皆様から温かい激励の拍手をいただいた。また、女子駅伝の全国大会プリンセス駅伝ではファンファーレのを演奏し、その様子が全国放映された。

団員数は平成28年3月現在29名(卒団予定者8名)となり、今後のより一層の活躍が期待される。

### 宗像ミアーレ音楽祭開会式での演奏



## (5) いきいき出前コンサート

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的とする。

本年度は、年間を通して市内各所 96 ヶ所で、いきいき出前コンサートを実施した。

また、市内小学校全校でのアウトリーチ事業をスタートさせた。

### 【主な編成】

- ・九州管楽合奏団 金管五重奏
- ・九州交響楽団メンバーによる弦楽五重奏
- ・ピアノ&サクソフォン(二羽正行・松木陽介)
- ・白石光隆(ピアノ)
- ・岩崎雅子 (Mar) &村岡慈子 (Per) ほか

すくすくコンサート



九州交響楽団弦楽五重奏



白石光隆



九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏



## (6) スマイルキッズプログラム

国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は16.3%と過去最悪を更新している。子ども6人に1人は貧困層に属し、じわじわと増え続けているという社会環境があり、宗像市も平成24年度に「子ども基本条例」を制定している。それを受けて、宗像ユリックスは子どもに優しいまちづくりに向けてアウトリーチ・ワークショップ・ホールコンサートなどの子ども向け事業を体系的に組み立て、公共ホールの使命を果たすべく、以下の事業を実施した。

〈平成27年度実施事業〉

	乳幼児(0~5歳)	小学校	中学校
アウトリーチ	すくすくコンサート	市内小学校全校でのアウトリーチ (九響弦楽五重奏ほか)	28年度 取り組み
	市内幼稚園・保育所でのアウトリーチ (九管サクソフォン四重奏)		

鑑賞型 事業	九管ポップスファミリーコンサート	わくわく・ドキドキオーケストラ	28年度 取り組み
	音楽の絵本	小4芸術鑑賞モデル事業	

## (7) 映画事業

12作品を上映し、総入場者数4,492人となった。1作品当たりの入場者数は374人で前年に対し、153人の減となった。会員制度変更に伴い、入場料の見直しを行ったことが減少要因であるとする。当面は、積極的な広報で平均入場者数500人を目指していく。

## (8) 演劇・ミュージカル事業

『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』、『劇団飛行船 白雪姫と7人のこびと』、『劇団ショーマニシップ 親孝行の正助さん』の3本の事業を実施した。

## (9) 古典芸能

『ゆりっくす日曜百円寄席』、『ユリックスアマ落語競演会』、『狂言風オペラ コジ・ファン・トゥッテ』、など3事業を実施した。

## (10) 美術事業

美術事業は、「県展宗像ブロック展」、「大きなクスの木の下で美術館展」、「郷土の美術家展 酒井忠臣展」の3事業を開催した。



## (11) 宗像市との連携事業

平成22年度より文化行政4事業である『むなかた芸術祭』、『むなかた吹奏楽祭』、『むなかた文化祭』、『むなかたこども芸術祭』を実施した。

また、「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学4年生芸術鑑賞モデル事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものである。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度の開催も決定。

小学4年生芸術鑑賞モデル事業 九州管楽合奏団（指揮：ヨハン・デ・メイ）



## PR事業

### ■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250部（宗像市広報 33,300部 福津市広報 21,400部 宮若市 12,400部 その他 4,150部）。宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、近隣文化施設などに送付した。

### ■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局ラジオ局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようにした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

### ■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRを行った。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。

### ■ホームページ

公演情報や募集案内など、ユリックスの様々な情報をホームページに掲載し、適宜更新した。常に、各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報を掲載して、お客様の利便性向上に努めている。



平成27年度宗像ユリックス主催事業一覧

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額 (円)	内容
1	毎月第2日曜日	ゆりっくす百円寄席	古典芸能	大和室	100円	1,351人	△ 151,180	日本の芸能である落語を定期的にお届けする。併せて、地域の落語家の皆様定期的に発表の場を設け、地域文化の振興を図る。
2	7/4	白石光隆「おしゃべり」コンサート ～ピアノでたどる夏の思ひ出～	音楽	ハーモニー	1,000円	191人	△ 1,015,187	ピアニスト白石光隆によるおしゃべりコンサート第3弾。「春」「秋」に続き、「夏」をテーマに世界の名曲を軽快なトークとともにお届けした。
3	7/11	漆原朝子&ペリー・スナイダー	音楽	ハーモニー	2,000円	131人	△ 882,422	ヴァイオリニスト 漆原朝子とピアニスト ペリー・スナイダーによるデュオリサイタル。共演歴20年の円熟味と安定感のある演奏で魅了した。
4	7/18	劇団飛行船マスクプレイミュージカル 「白雪姫と7人のこびと」	演劇	ハーモニー	2,300円	568人	△ 897,710	世界中で愛されるプリンセス物語を、新たなストーリー展開でお届けするマスクプレイミュージカル。
5	7/20	ベルリン・コンツェルトハウス室内 オーケストラ 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	音楽	ハーモニー	4,000円	347人	△ 1,897,694	「ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団」の日本人初となる第1コンサートマスターに就任した日下紗矢子をリーダーに結成された、同楽団公式アンサンブルによる公演。
6	8/18～30	第12回郷土の美術家展「酒井忠臣 展」～追い求めた抽象画の世界～	美術	美術 ギャラリー	300円	477人	△ 700,628	画業50年、宗像市田熊在住37年の画家・酒井忠臣が、東洋の色である「黒」を基調に見る人の内面に迫る精神的絵画を追及した作品展。
-	8/23	ギャラリーアートトーク	美術	美術 ギャラリー	300円	20人	-	郷土の美術家展「酒井忠臣展」の併催企画。作品の展示会場で酒井忠臣自身によって講演が開かれた。
7	8/23	第21回玄海灘ジョイントコンサート ～ファイナルステージ～	音楽	ハーモニー	500円	380人	△ 512,654	水巻町、福津市、宗像市の各地域で活動する合唱団の合同演奏会。今回はファイナルステージ。各団体の合唱と、合同ミュージカルからなる2部構成。元気な歌声をお届けした。
8	9/13	華麗なるイタリア・オペラの世界 ～「椿姫」ハイライト 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	音楽	ハーモニー	3,500円	203人	△ 2,013,279	市原愛(ソプラノ)、西村悟(テノール)、トリノ王立歌劇場で活躍するピアノ・トリオによる演奏。イタリア古典歌曲からイタリア・オペラのアリアまで、一度に堪能できる贅沢な公演。
9	9/27	ブルガリアカザンラック民族舞踊団 (第12回)	演劇	ハーモニー	2,000円	550人	△ 190,304	新しい演出と色鮮やかな民族衣装で会場を鮮やかに彩った。バラの女王の来場や、ブルガリア物産展の同時開催も会場を盛り上げた。グローバルアリーナとの共催事業。
10	10/14～ 23	第71回福岡県美術展覧会「県展」 宗像ブロック展	美術	美術 ギャラリー	200円	644人	△ 489,824	福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会会員出品作品を展示。
11	10/30	ヴィオラ&コントラバス&ピアノ ～音の響宴～	音楽	美術 ギャラリー	2,000円	146人	△ 47,950	宗像市在住のヴィオラ奏者・黒川隼子が、コントラバスとピアノのトリオでお贈りする、秋の夜長の味わい深い響宴。
12	11/3	山中千尋 ニューヨーク・ジャズ・トリオ ～RAGTIME～	音楽	ハーモニー	4,500円	342人	△ 1,755,571	山中千尋が、ベースの脇義典、ドラムのジョン・デイヴィスとともに「ラグタイム王」スコット・ジョプリンの曲を中心に、卓越したアレンジ・センスで繰り広げられるジャズ・ピアノを披露した。
13	11/7	徳永英明 Concert Tour 2015	音楽	イベント	7,800円	2,000人	△ 698,210	今年1月にリリースされた「VOCALIST6」を引っ提げて行われた約半年に及ぶ全国ツアーの、宗像公演。宗像ユリックスでは会員様のための販売となったが、完売。
14	11/11	古澤巖in鎮国寺～鎮国寺奉納	音楽	鎮国寺 護摩堂	2,500円	120人	102,843	ヴァイオリニスト古澤巖が全国の神社仏閣で行っている奉納演奏。
15	12/12	プラハ・バロック合奏団&川井郁子 クリスマスコンサート	音楽	ハーモニー	5,000円 (ペア9,000 円)	405人	△ 2,192,167	“弦の国”と称されるチェコで結成した正統派バロック・アンサンブル「プラハ・バロック合奏団」と独自の表現世界で魅了するヴァイオリニスト川井郁子による豪華共演のコンサート。
16	12/13	年の瀬だよ！全員集合 ゆりっくす アマ落語競演会！	古典	会議室1	500円	143人	△ 75,260	毎月開催している日曜百円寄席の拡大版として、日本各地で活躍するアマチュア落語家5名を招き、プロ顔負けの話題で観客を魅了した。完売。
17	12/19	精華女子高等学校吹奏楽部 「吹奏楽&マーチング」	音楽	イベント	1,000円	1,270人	377,370	全日本吹奏楽コンクールをはじめ、数々の賞を獲得している全国屈指の女子高バンド「精華女子高等学校吹奏楽部」による吹奏楽とマーチング。圧倒的な演奏とパフォーマンスで魅了。
18	1/24	New Year's Concert 2016 森 麻季 ソプラノリサイタル	音楽	ハーモニー	3,500円	200人	△ 556,596	透明感のある美声と深い音楽性に満ちあふれた演奏で観客を魅了した。大雪の影響で、来場者数が大幅に減少。非来場者は払戻対応を実施。
19	1/31	「音楽の絵本」～クールプラス～	音楽	イベント	2,500円	1,232人	△ 1,631,366	毎回好評の「音楽の絵本」。今回はズーラシアンプラスに加え、ドラム、ユーフォニアム、サクソ四重奏、ピアノが参加。賑やかなビッグバンドスタイルでお届けした。
20	2/21	狂言風オペラ コジ・ファン・トゥッテ 助成：一般財団法人 地域創造	音楽	ハーモニー	4,000円	650人	△ 4,899,919	京の都にモーツァルトが舞い降りた。狂言師が管楽八重奏の演奏に乗せ演じた。オペラを狂言にアレンジし、男女2人組と周囲の人間が織りなす駆け引きを笑いあり涙ありで観た。
21	2/27	九州の民話めぐり 「親孝行の正助さん」と「半割りの和尚」	演劇	ハーモニー	1,000円	154人	△ 693,686	九州に伝わる民話を演劇で表現した。宗像の「親孝行の正助さん」と佐賀県の民話「半割りの和尚」を取り上げた。正助さんの故郷・吉武コミセンでは、事前ワークショップを行った。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な入場料金	入場者	収支差額(円)	内容
----	----	-----	------	----	--------	-----	---------	----

■宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～2015

【プレイベント】 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

22	8/8	きいて、あそんで、ふれあって！ ジャズジャズジャン♪で始まる！ わくわく・ドキドキ♡オーケストラ体	音楽	ハーモニー	1,000円	818人	△ 2,748,420	子どもから大人まで楽しめる体験型。クラシックの名曲やジブリ曲の鑑賞のほか、楽器体験や指揮者体験を盛り込んだ。また、今年初めて子どもレセプションを公募。2回公演。
23	8/29	九管ポップスファミリーコンサート	音楽	ハーモニー	1,000円	1,350人	△ 1,014,536	九州管楽合奏団が子どもたちに贈る大人気の夏休みファミリーコンサート。アニメのテーマ曲や童謡の演奏のほか、童謡「不思議の国のアリス」を音楽にのせてお届け。2回とも完売。

【本公演】 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

24	10/11	宗像ミアーレ音楽祭2015 宗像ミアーレ・ジュニア合唱団と福岡教育大学学生によるコンサート	音楽	ハーモニー	500円	470人	△ 14,581,882	ユリックス・ジュニアブラスの演奏と、今年も新たに募った宗像ミアーレ・ジュニア合唱団、そして福岡教育大学音楽科の学生によるコンサート。
	10/11	宗像ミアーレ音楽祭2015 吹奏楽部学生300人コンサート スペシャルゲスト ブラック・ボトム・	音楽	ハーモニー	500円	1,061人		宗像市・福津市の中学校・高校吹奏楽部300人が集結し、大迫力の演奏をお届けした。スペシャルゲストのブラック・ボトム・ブラス・バンドとの共演も実現した。
	10/11	宗像ミアーレ音楽祭2015 ミアーレ・キッズ・プログラム(全2回)	音楽	美術 ギャラリー	親子ペア500円	89人		伝統楽器やピアノ&ドラムなど、間近で見聴きする機会の少ない楽器や音楽を親子で楽しんで頂いた。子ども向けの楽器体験も行った。
	10/11～12	宗像ミアーレ音楽祭2015 市民ステージ	音楽	ホワイエ 中庭 古墳広場	無料	ホワイエ 1579人、 中庭751		アマチュア演奏家による演奏。ジュニアの演奏家も交え、合唱、ピアノ、リコーダーなど、バラエティ豊かな音楽を届けた。古墳広場では、トワイライトピアノも開催。
	10/12	宗像ミアーレ音楽祭2015 九響と散策する名曲の小径 プロムナード①、プロムナード②	音楽	ハーモニー	各3500円	866人		世界で活躍する指揮者・飯森範親、ソリストに人気・実力ともにトップクラスの横山幸雄(Pf.)を迎え、九州交響楽団によるクラシックの名曲をお届けした。
	10/12	宗像ミアーレ音楽祭2015 ミアーレ・キッズ・プログラム(全2回)	音楽	イベント	親子ペア500円	442人		ピクニックへ出かけた6人のリズムお姉さんは、体操が好きなお兄さん・お姉さんやくまさん、さるさんに出会う。音のピクニックを親子で楽しんで頂いた。
	10/12	宗像ミアーレ音楽祭2015 楽器で遊ぼう！音のミュージアム	音楽	展示室 大和室 会議室1,2	無料	4,000人		市内の音楽団体、学生の協力により、管楽器、弦楽器、和楽器までさまざまな楽器体験ができる。昨年度に引き続きスタンプラリーも開催。

【いきいき出前コンサート】 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

25～120	通年	いきいき出前コンサート(すくすくコンサート含む)	音楽	市内各所	無料	13,078人	△ 3,089,211	音楽祭の併催事業として、市内各所96カ所出張コンサートを開催。※詳細は別紙参照
--------	----	--------------------------	----	------	----	---------	-------------	---

■ワークショップ

121	5/10	白石光隆 ～ピアノの話をしませんか？～第1回	音楽	ハーモニー 舞台	500円	56人	△ 91,492	「白石光隆おしゃべりコンサート」プレイベント1回目。ピアノの生演奏と軽快なトークで、「ピアノの詩人」と呼ばれるショパンの姿に迫る。完売。
122	6/7	白石光隆 ～ピアノの話をしませんか？～第2回	音楽	ハーモニー 舞台	500円	58人	△ 70,180	「白石光隆おしゃべりコンサート」プレイベント2回目。ジャズピアノの特徴やクラシック音楽との違いなど、興味深いジャズの話を生演奏とともに楽しむ。完売。
123	10/26～10/30	小学校4年生芸術鑑賞モデル事業 事前レクチャー	音楽	市内 小学校	無料	900人	-	小学校4年生芸術鑑賞モデル事業のコンサート開催前に、楽団員が各学校に出向き、事前に演奏会の楽しみ方やマナーについてレクチャーを実施。
124	11/28	狂言親子ワークショップ	古典芸能	リハーサル室	無料	13人	-	2月開催の狂言風おべら「コジ・ファン・トゥッテ」開催に先駆けて行われた親子向けのワークショップ。狂言の所作を楽しく学びながら、狂言の世界を体験。
125	8/23	郷土の美術家展 「抽象画ってなに」	美術	美術 工芸室	無料	18人	-	郷土の美術家展「酒井忠臣展」の併催企画。西洋美術史を学びながら、抽象絵画とは何かをワークショップ形式で体験。
126	8/30	郷土の美術家展 「楽しく抽象画に触れてみよう」	美術	美術 工芸室	無料	12人	-	郷土の美術家展「酒井忠臣展」の併催企画。小学生を対象として、様々な道具や絵画を用い、アクションペインティングという手法で絵画制作を体験。

■九州管楽合奏団（九管ポップスファミリーコンサートは、宗像ミアーレ音楽祭プレイベントとして実施。）

127	3/26	九州管楽合奏団クリニック	音楽	リハーサル室他	1,000円	156人	△ 22,010	九州管楽合奏団のメンバーによる楽器クリニックを中学校・高校の吹奏楽部員に実施。
-	-	九管練習利用	音楽	-	-	-	△ 585,940	宗像ユリックスと九州管楽合奏団の連携協定に基づき、楽団員が練習利用した場合に、事業部が会場使用料を負担するもの。

■ユリックス ジュニアブラス

-	通年	ユリックス ジュニアブラス	音楽	-	月会費 4,000円	-	△ 506,018	宗像市内の小中学校3年生以上を条件に募集し、昨年4月より活動開始。毎週火曜日に練習。(指導者：丸田友博)音楽祭や吹奏楽祭で演奏を披露。3月現在団員29名(卒団者8名予定)
128	3/29	第2期 ユリックス・ジュニアブラス 卒団式・卒団演奏会	音楽	ハーモニー	無料	120人	-	ユリックスを拠点に活動する小学生の吹奏楽団、ユリックス・ジュニアブラスの演奏会。3月で退団する6年生を在団生、初代卒団生らとともに演奏で送りました。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額 (円)	内容
----	----	-----	------	----	------------	-----	-------------	----

【名画シアター】

129～140	4/29	名画シアター 12作品を上映	映画	ハーモニー	会員700円 一般900円	4,969人	△ 4,645,084	【上映作品】(上映日) ・「ジャージーボーイズ」(4/29) ・「超高速参勤交代」(5/23) ・「太秦ライムライト」(6/27) ・「グランド・ブタベスト・ホテル」(7/25) ・「マエストロ！」(8/30) ・「深夜食堂」(9/25) ・「駆け出し女と駆け出し男」(10/23) ・「愛を積むひと」(11/19) ・「繕い裁つ人」(12/17) ・「あん」(1/21) ・「エール！」(2/18) ・「起終点駅」(3/24)
141	通年	ロビーライブ	音楽	ホワイエ	無料	765人	△ 81,300	名画シアター開催時に上映の合間を利用して、応募いただいた演奏者によるコンサートを開催。27年度は……

■宗像市との共催事業

142	6/20～21	むなかた芸術祭	その他	美術 ギャラリー	無料	1,000人	△ 281,593	美術品展示・盆栽展示・生け花展示
	6/20～21	むなかた芸術祭	その他	茶室・大和室	500円	196人		茶道 薄茶席(表千家)500円 呈茶席(裏千家)300円
	6/21	むなかた芸術祭	その他	ハーモニー	500円	1,270人		舞台公演(舞踊・三曲・吟剣詩舞道・民謡・音楽) 特別ゲスト:ユリックスジュニアプラス 福岡大学附属若葉高等学校 津軽三味線部
143	7/3	むなかた吹奏楽祭	音楽	イベント	無料	2,000人	△ 167,390	宗像市及び近隣の中学校・高校・一般の吹奏楽団体による演奏会
144	10/18	第35回 むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	300人	△ 719,060	市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般舞台部門(大正琴、フラダンス、ダンス)
	10/18	第35回 むなかた文化祭 第52回 宗像市謡曲大会	その他	茶室・大和室	無料	50人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 (謡曲)
	10/30	第35回 むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	150人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般舞台部門(民謡、吟剣詩舞道)
	11/8	第35回 むなかた文化祭 むなかた秋の踊り	その他	ハーモニー	無料	200人		舞踊協会が日ごろの成果を発表。(舞踊)
	11/13～ 15	第35回 むなかた文化祭 秋の美術展	その他	美術 ギャラリー	無料	500人		美術協会による美術作品の展示。
	11/15	第35回 むなかた文化祭 「箏・三弦・尺八」演奏会・むなかた 音楽祭2015	その他	ハーモニー	無料	600人		三曲協会と音楽協会が日ごろの成果を発表。(音楽)
	11/15	第35回 むなかた文化祭 秋の茶会	その他	茶室・大和室	薄茶席500円 呈茶席300円	100人		茶道協会によるお茶のおもてなし。
	11/28～ 29	第35回 むなかた文化祭 一般展示	その他	美術 ギャラリー	無料	400人		押し花や陶芸などの作品を展示。
11/7～8	第35回 むなかた文化祭 伝統と創造の結晶・秋のいけばな 展	その他	美術 ギャラリー	無料	1,400人	盆栽協会と華道協会による盆栽といけばなの展示。		
145	11/22	第17回 むなかたこども芸術祭	その他	ハーモニー	高校生以上 500円	914人	△ 492,340	宗像市内で活動するダンスや演劇などのグループに所属する子どもたちが、日ごろの成果を発表。

【宗像市からの受託事業】

146	11/6	小学校4年生芸術鑑賞モデル事業	音楽	ハーモニー	無料	900人	-	宗像市内の小学校4年生を対象に実施している芸術鑑賞事業。児童は公演前までに各学校で鑑賞時のマナーなどのレクチャーを受けて鑑賞した。
147	1/23～ 2/7	「大きなクスの木の下で」Vol.7 中村研一・塚二の作品と郷土の作家たち展	美術	美術 ギャラリー	300円	700人	-	宗像の大きなクスの木の下で育った中村研一・塚二兄弟の作品と、宗像に縁の作家たちの作品も展示。開催期間中の土・日曜日は、ワークショップやギャラリートークも開催。

平成27年度 いきいき出前コンサート一覧  
96ヶ所・約13,000人へ「生の音」をお届け  
(平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)

すくすくコンサート・・・未就園児とその母親を対象としたコンサート・・・実施回数 11回

回数	公演日	編成	実施場所	実施時間	総入場者数
1	4月8日	岩崎雅子(Mar)&村岡慈子(Perc)	宗像ユリックス	10:30~11:15	70
2	5月26日	宮原絵里(VI)下村英子(Pf)	河東コミセン	10:30~11:15	80
3	6月30日	中山知奈美(CI)他2名	赤間西コミセン	10:30~11:15	80
4	9月18日	岩崎雅子(Mar)&村岡慈子(Perc)	自由ヶ丘コミセン	10:30~11:15	90
5	10月22日	宮原絵里(VI)下村英子(Pf)	池野コミセン	10:30~11:15	60
6	10月29日	藤松純子(VI)&高松聡美(Mar)	東郷コミセン	10:30~11:15	80
7	11月18日	宮原絵里(VI)下村英子(Pf)	宗像ユリックス	10:30~11:15	60
8	12月8日	岩崎雅子(Mar)&村岡慈子(Perc)	メイトム	10:40~11:25	100
9	1月20日	藤松純子(VI)&高松聡美(Mar)	宗像ユリックス	10:30~11:15	50
10	2月24日	工藤真菜(VI)&田元真木(Vc)&國友章太郎	宗像ユリックス	10:30~11:15	80
11	3月30日	中西久美(FI)&岡直美(Pf)	赤間コミセン	10:30~11:15	90

市内幼稚園・保育園全園へ・・・実施回数 22回

12	5月14日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	福岡教育大学附属幼稚園	10:00~10:50	100
13	5月14日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	野ばら保育園	15:30~16:20	110
14	5月20日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	赤間第二保育園	10:00~10:50	130
15	5月20日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	日の里西保育園	15:00~15:50	150
16	5月21日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	日の里東保育園	10:00~10:50	120
17	6月4日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	赤間くるみ幼稚園	10:00~10:50	230
18	6月4日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	平等寺保育園	15:00~15:50	130
19	6月10日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	西海保育園	10:00~10:50	130
20	6月10日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	野ばら第二保育園	15:00~15:50	150
21	6月11日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	日の里幼稚園	10:00~10:50	240
22	6月11日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	かとう保育園	15:00~15:50	130
23	6月18日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	ひかり幼稚園	10:00~10:50	130
24	6月18日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	恵愛保育園	15:30~16:20	180
25	6月25日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	東郷信愛幼稚園	10:35~10:25	250
26	7月2日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	玄海ゆりの樹幼稚園	10:30~11:20	300
27	7月2日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	地島ゆりの樹幼稚園	13:00~13:50	30
28	7月15日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	東海大学付属自由ヶ丘幼稚園	10:00~10:50	150
29	7月15日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	赤間保育園	15:30~16:20	105
30	7月16日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	浄徳寺幼稚園	10:30~11:20	350
31	7月16日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	玄海風の子保育園	15:00~15:50	110
32	9月18日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	大島へき地保育所	15:00~15:50	60
33	10月14日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	博多のびっこ幼稚園	10:45~11:35	271

市内小学校全校へ・・・実施回数 15回

34	5月7日	九州交響楽団 弦楽五重奏	玄海小学校	9:45~10:30	100
35	5月7日	九州交響楽団 弦楽五重奏	玄海東小学校	14:10~14:55	200
36	5月11日	九州交響楽団 弦楽五重奏	自由ヶ丘小学校	9:40~10:25	650
37	5月11日	九州交響楽団 弦楽五重奏	自由ヶ丘南小学校	14:00~14:45	150
38	5月18日	九州交響楽団 弦楽五重奏	吉武小学校	14:15~15:00	135
39	6月8日	白石光隆	玄海東小学校	10:45~11:30	172
40	6月17日	九州交響楽団 弦楽五重奏	東郷小学校	9:35~10:20	600
41	6月17日	九州交響楽団 弦楽五重奏	南郷小学校	14:10~14:55	220
42	6月24日	九州交響楽団 弦楽五重奏	河東西小学校	9:35~10:20	500
43	6月24日	九州交響楽団 弦楽五重奏	河東小学校	14:15~15:00	700
44	9月14日	市原愛子(Sop)西村悟(Ten)トリノ王立歌劇場トリオ	赤間西小学校	11:35~12:20	80
45	11月2日	九州交響楽団 弦楽五重奏	赤間小学校	10:40~11:25	466
46	11月2日	九州交響楽団 弦楽五重奏	赤間小学校	14:05~14:50	468
47	11月10日	九州交響楽団 弦楽五重奏	地島小	11:00~11:45	25
48	11月28日	九州交響楽団 弦楽四重奏	大島コミセン(大島小・中学校)	11:00~11:45	20

但し、文化庁劇場・音楽堂活性化事業（活動別支援事業）の対象期間は、4月～11月であるため、事業回数は82回（すくすくコンサート7回、宗像ミアール音楽祭75回）、入場者数合計は、12,057人。

**福祉施設・病院へ・・・ 実施回数 20回**

回数	公演日	編成	実施場所	実施時間	総入場者数
49	4月11日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	グループホーム ファミリー	14:00～14:45	20
50	5月11日	白石光隆	摩利支病院	14:00～14:50	70
51	5月18日	九州交響楽団 弦楽五重奏	ハイマート杏	10:30～11:15	35
52	6月21日	福岡教育大学音楽科	ゆとり苑	10:30～11:15	40
53	6月21日	福岡教育大学音楽科	ケアポート玄海	14:30～15:00	100
54	7月8日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	はるかぜの郷	10:30～11:15	30
55	7月9日	緒方愛子(VI) 家長玲於(Vc)	特養あかま	10:30～11:15	40
56	7月10日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	緑が丘学園	10:30～11:15	80
57	7月10日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	みあれ苑	14:00～14:45	30
58	8月1日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	赤間病院	14:00～14:45	30
59	8月11日	緒方愛子(VI)	宗寿園	11:30～12:15	20
60	8月11日	緒方愛子(VI)	デイサービス寿木塔	14:00～14:45	20
61	8月12日	緒方愛子(VI)	デイサービスセンターみのり	10:30～11:15	40
62	9月8日	福岡教育大学音楽科	玄海さつきの杜	10:30～11:15	40
63	9月8日	福岡教育大学音楽科	宗像学園	15:00～15:45	30
64	9月17日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	宗像有料老人ホームひかり	10:30～11:15	20
65	9月17日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	宗像コスモス会ひだまり	14:00～14:45	35
66	9月23日	緒方愛子(VI)・松本さくら(VI.)	緑風園	10:30～11:15	45
67	9月23日	緒方愛子(VI)・松本さくら(VI.)	よりあいの家	14:00～14:45	45
68	1月9日	山崎笠山(尺八)&宮本直美(箏)	城山庵	14:00～14:45	35

**まちかどへ・・・ 実施回数 28回**

69	4月8日	岩崎雅子(Mar)&村岡慈子(Perc)	医師会(なかよし保育園)	15:30～16:15	20
70	4月11日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	道の駅むなかた	10:30～11:15	50
71	5月10日	白石光隆	赤馬館	15:30～16:15	52
72	5月11日	白石光隆	宗像市役所	12:15～13:00	60
73	5月16日	道の駅むなかた 潮騒ライブ	道の駅むなかた	13:00～14:00	60
74	5月16日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	大島オルレ	10:00～15:30	300
75	6月7日	白石光隆	宮司	16:00～17:00	70
76	6月8日	白石光隆	グローバルアリーナ	16:00～16:45	66
77	6月27日	道の駅むなかた 潮騒ライブ	道の駅むなかた	13:00～14:00	91
78	6月30日	中山知奈美(CI)他2名	大和保育所	15:30～16:15	120
79	7月19日	九州管楽合奏団 金管五重奏	イセキング	11:00～11:40	500
80	7月21日	日下紗矢子(VI)日下知奈(pf)	東郷コミセン	11:00～11:45	30
81	7月25日	山崎笠山(尺八)&宮本直美(箏)	岬コミセン	10:00～10:45	40
82	7月25日	山崎笠山(尺八)&宮本直美(箏)	海の道むなかた館	12:00～12:45	70
83	7月28日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	Fコープ	13:30～14:15	70
84	8月1日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	池野コミセン	18:00～19:00	500
85	9月19日	潮騒ライブ なりしげひろし(Dr)&定村史朗(V)	道の駅むなかた	13:00～14:00	75
86	10月24日	潮騒ライブ	道の駅むなかた	13:00～14:00	51
87	11月8日	二羽正行	赤間西コミセン	12:30～13:15	500
88	12月3日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	日の里コミセン	10:30～11:30	120
89	12月19日	潮騒ライブ	道の駅むなかた	13:00～14:00	81
90	12月20日	二羽正行(Pf)&松木陽介(Sax)	自由ヶ丘コミセン	10:30～11:30	100
91	1月9日	山崎笠山(尺八)&宮本直美(箏)	玄海コミセン	10:30～11:30	63
92	1月16日	山崎笠山(尺八)&宮本直美(箏)	道の駅むなかた	13:00～14:00	70
93	1月17日	緒方愛子(VI.)	河東コミセン	11:55～12:35	50
94	2月11日	工藤真菜(VI)&田元真木(Vc)	赤間西コミセン	14:00～14:45	120
95	2月28日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	吉武コミセン	11:00～11:45	26
96	2月28日	九州管楽合奏団 サクソフォン四重奏	南郷コミセン	15:00～15:45	36

文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 対象事業（4月～11月開催分）	12,057
その他事業（12月～3月開催分）	1,021
年間入場者数合計	13,078

## 公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

### プラネタリウム総括

平成27年度のプラネタリウムの来場者数は28,186人と、前年度より約300人減となった。団体の利用者数は、前年度と同様好調である。前年冬に実施したおとな向け「オーロラ」が大変好評であったため、その分の減少が見られた。また、前年度に引き続き市内小学1年生に招待券配布などを行ったが、利用率が少なかった(8.3%,75人)ため、次年度は見直しを図りたい。

#### ●プラネタリウムプログラム

こども向けプログラム「ほしぞらクレヨン★」では、星空へのお絵かきやショートストーリー、クイズ、宇宙旅行など季節や星空に合わせて内容を変更し、来場者がいつも違った内容を楽しめる仕掛けを作り続けておりリピーターも多い。今年度はショートストーリーの「春の夜空の動物たち」「とかげ座のおはなし」「アルゴ座のおはなし」の3作品と宇宙旅行のシーン、クイズなどを新たにオリジナルで制作した。

おとな向けプログラムでは、今年度は道の駅むなかたによる特別協賛プログラム「北斗の水くみ」を制作した。市内にある北斗の水くみ海浜公園から見えるとされる、北斗の水くみ現象に焦点を当て、その見え方などをプラネタリウムならではの機能を駆使して紹介した。また、宇宙生命を題材とした「宇宙人にあいたい！」や世界光年(IYL2015)に連動したプログラム「光で見る宇宙」、星での元素合成を取り上げた「星の一生」なども好評であった。

通年で実施している、美しい星空とダイナミックな音楽を楽しめる「リラクセーションプログラム」は、リピーターも増えてきている。平成26年から開始した夜間投影も定着しつつある。

#### ●学校団体向け学習プログラム

学習プログラムとして、小学校・中学校向けの各プログラム(4種類)を実施した。今年度も案内を送付範囲する範囲を広げた結果、前年度並みの来場者数を維持することができた。また、市内学校団体の利用状況は15校中12校(前年比±0)で、昨年より384人減の677人の来場者数であった。来場者数減の原因として、昨年まで可能であった市補助金利用が第4学年に限られたことから、利用予約のキャンセルが生じたことなどが挙げられる。

#### ●ボランティアスタッフの活動の支援

ボランティアスタッフ(ほしぞらスタッフ)は49人の登録があり、観望会「ほしぞらウォッチング」を始めとした事業の企画・運営・補助を担っていただいている。今年度は年5回の観望会に加え皆既月食・流星・部分日食観察会、リピーター向けの特別観望会などを追加で企画・実施した。ボランティア発案による、様々なアイデアによる魅力あるイベントを実施できた。

また、12月のこども向けプログラムにおいては、過去にボランティアが制作したプログラムを実施し、それに併せて登場するキャラクターの缶バッジをボランティアが制作、来場者に配布した結果、前年度よりも来場者が増加し、好評であった。

#### ●その他活動

今年度で2期目となった小学生向けの講座「ほしぞら友の会」では、市内外の18人の小学生(4~6年生)が参加し、月1回の講座・工作・観察を行った。12回の講座を実施し、延べ179人の参加数となった。科学を担う施設として、小学生に対する講座を今後も継続したい。

## プラネタリウム番組

<平成 27 年度のプログラム>

区分	プログラム内容	来場者	実施期間
おとな向け	「北斗の水くみ」	1,895 人	4～6 月
	「宇宙人にあいたい！」	3,313 人	7～9 月
	「光で見る宇宙」	1,239 人	10～12 月
	「星の一生」	1,243 人	1～3 月
こども向け ほしぞら倶楽部★	「春の夜空の動物たち」	2,911 人	4～6 月
	「七夕ものがたり」	4,948 人	7・8 月
	「とかげ座のおはなし」	2,730 人	9～11 月
	「クリスマスのおくりもの」	842 人	12 月
	「アルゴ座のおはなし」	2,526 人	2・3 月
リラクゼーション	「Starry Music ～image を聴きながら～」	2,988 人	通年
学習	小学 3 年生プログラム 小学 4 年生プログラム 小学 6 年生プログラム 中学 3 年生プログラム	6 件 236 人 55 件 2,312 人 3 件 67 人 2 件 54 人	通年

第 2 期ほしぞら友の会



ボランティアの活動風景



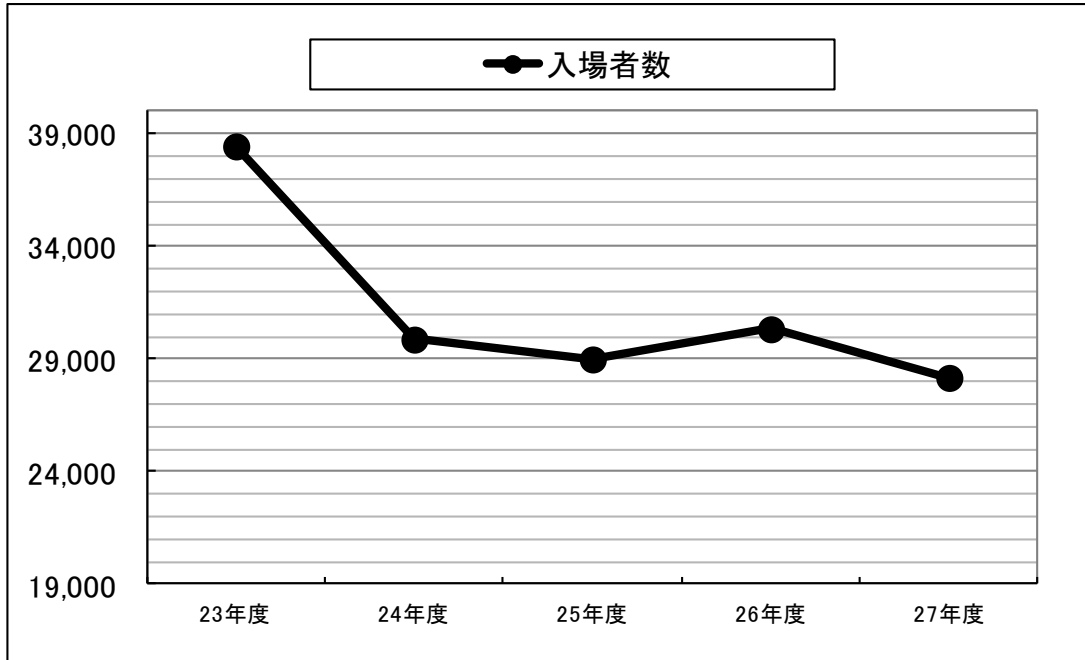
観望会「ほしぞらウォッチング」



<入場者数の推移>

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入場者数	38,465	29,887	29,005	30,345	28,186
対前年比	193.0%	77.7%	97.0%	104.6%	92.9%

※観望会等の野外を除く



<イベント実施状況>

	区分	イベント名	実施日	参加者人数
1	講座	ほしぞら友の会第1回「オリエンテーション」	4月18日	16人
2	講座	ほしぞら友の会第2回「プラネタリウムのお楽しみ」	5月16日	16人
3	講座	ほしぞら友の会第3回「望遠鏡工作」	6月20日	18人
4	講座	ほしぞら友の会第4回「月の観察」	7月25日	18人
5	講座	ほしぞら友の会第5回「流れ星について」	8月8日	12人
6	講座	ほしぞら友の会第6回「ペットボトルロケット打上げ」	9月19日	16人
7	講座	ほしぞら友の会第7回「太陽の観察」	10月17日	15人
8	講座	ほしぞら友の会第8回「火薬ロケット工作」	11月21日	16人
9	講座	ほしぞら友の会第9回「火薬ロケット打上げ」	12月19日	14人
10	講座	ほしぞら友の会第10回「惑星について」	1月23日	11人
11	講座	ほしぞら友の会第11回「日時計工作」	2月13日	14人
12	講座	ほしぞら友の会第12回「星の一生」	3月19日	13人
		合計		179人



<観望会「ほしぞらウォッチング」>

	実施日	内容	解説	天体観望
1	4月4日(土)	皆既月食観望会	45人	—
2	5月9日(土)	金星・木星	103人	150人
3	6月6日(土)	太陽	143人	230人
4	7月4日(土)	金星・木星	125人	—
5	8月22日(土)	夏の星空・旧暦七夕	164人	180人
6	9月26日(土)	お月見	—	150人
7	12月12日(土)	流星観察会	45人	40人
8	2月21日(土)	特別観望会(リピーター向)	—	18人
9	3月9日(水)	部分日食観察会	5人	—
10	3月12日(土)	冬の星空・木星	64人	90人
		合計	694人	858人

※「ほしぞらスタンプカード」を実施し、H27年は5～9月、H28年は3～9月の観望会が対象。  
H27年は金賞(パーフェクト5回参加)19人・銀賞(4回参加)9人・銅賞(3回参加)12人

<出張観望会・出前講座>

	実施日	団体名	参加人数
1	7月11日(土)	福岡県マリンスポーツ実行委員会(講座・市外)	25人
2	7月18日(土)	福岡県マリンスポーツ実行委員会(講座・市外)	40人
3	7月18日(土)	ボーイスカウト古賀1団(観望会・市内)	18人
4	7月22日(水)	古賀市エコロの森(工作教室・市外)	16人
5	8月9日(日)	ふれあいの森総合公園(観望会・市内)	50人
6	8月19日(水)	岡垣サンリーアイ(観望会・市外)	50人
7	9月12日(土)	粕屋町乙仲原西区吉田4組(観望会・市外)	20人
8	10月17日(土)	岡垣町いこいの里スパーク岡垣(観望会・市外)	30人
9	10月18日(日)	日の里東小学校(観望会・市内)	70人
10	10月30日(金)	宮若市山口小学校(観望会・市外)	100人
11	1月31日(日)	福岡市中央区当仁公民館(観望会・市外)	45人
12	2月3日(水)	北九州市南丘市民センター(講座・市外)	80人
13	2月6日(土)	福岡市中央区当仁公民館(工作教室・市外)	15人
14	2月11日(木)	福岡市中央区当仁公民館(観望会・市外)	25人
15	3月21日(月)	岡垣サンリーアイ(観望会・市外)	30人
		合計	614人

## 公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

### 健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

#### ■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が252人となり、前年度末の261人に比べて9人減少した。

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、宗像市の特定保健指導・積極的支援アクアドームプログラム、動機付け支援アクアドームプログラムを実施した。

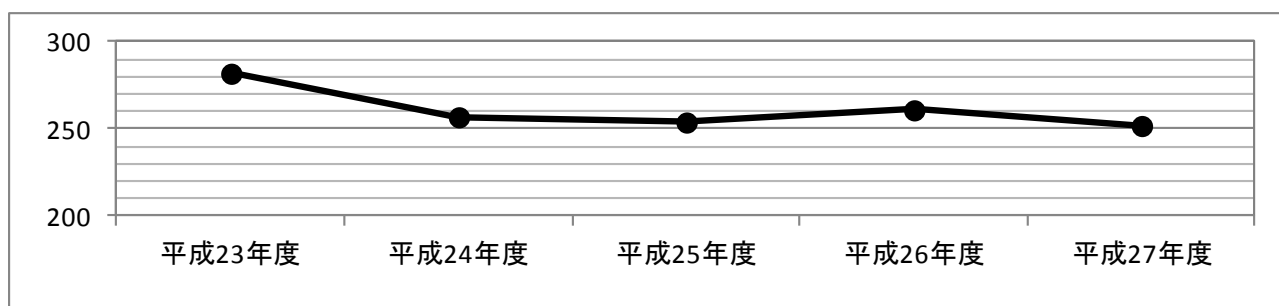
前年度に積極的支援の初回指導を終了し、本年度継続した対象者は3人であった（途中終了は0人）。本年度の積極的支援初回指導が終了したのは6人、6ヶ月のプログラムが終了したのは3人であった。最終計測までプログラムが終了していないのは2人で、途中終了が1人であった。

また、動機付け支援（1回のみ指導）は37人であった。

市検診の結果において、支援対象であり結果説明会に参加されなかった人へ電話勧奨を211件行った。特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導を32件行った。

アクアドームは、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になる、「指定運動療法施設」に認定されている。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ウエルネスクラブ会員数	282	257	254	261	252
対前年比	119.0%	91.1%	98.8%	102.8%	96.6%



## ■ スイミングスクール

ウエルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週1回コースを21クラス、週2回コースを1クラス、3ヵ月を1期として年間3期行った。受講申込者数は966人と前年度1,050人に比べ84人（前年比92.0%）減少となった。

利用者の中には10年間受講されている人もおり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」などの教室で、高齢者やプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

夏季ペアペアチャレンジ教室を7月、8月の計5回、土曜日9:00～10:00に実施し38人が参加した。スクール（ペアペアチャレンジ）からの参加者がほとんどであった。

夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクアを7月、8月の計8回、水曜日11:30～12:30に実施し216人が参加した。

夏休み初級水泳教室を定員人で7月、8月の計8回、木曜日12:00～13:00に実施し59人が参加した。

## ■ スタジオプログラム

エアロビクスは13,988人、前年比117.4%（前年11,919人）、スタジオレッスンは6,712人、前年比99.7%（前年6,735人）、スタジオ合計は24,945人、前年比106.8%（前年23,366人）と人数は1,579人増加した。

祝日プログラムは年間10回開催し、367人が参加した。

ストレッチショートプログラムは、モーニングストレッチ3,039人、ランチストレッチ1,599人、ディナーストレッチ685人の合計5,323人の利用があった。

アクアドームのような総合フィットネス施設におけるエアロ・ダンスプログラムは水泳・ジムトレーニングと同様に人気のある運動プログラムのひとつであり、女性層の取込みには欠かせないため、魅力ある教室を開催していきたい。

### 〔 栄養調理教室 〕

調理実習の「クッキングメイツ」は、年間234人の参加があった。前年の256人に比べ22人減少した。

コミュニティセンターでの調理教室「コミュ・クック」は、8月7日（金）（河東コミセン）18人の参加、テーマ「お盆のおもてなしにも！彩りと栄養豊かな夏野菜料理」、12月16日（水）（自由ヶ丘コミセン）11人の参加、テーマ「おしゃれでヘルシーな洋風おせち」であった。

小学生と保護者が一緒に行う「夏休み冬休み親子クッキング」を2回実施した。7月26日（日）9:00～12:00、メイトム宗像2階調理室、1組1,600円（1組中に子ども1人追加の場合、600円を追加料金とした）13組29人（追加3人）が参加した。テーマは「アクアドームオリジナル！親子ピザ作り教室～米粉と小麦粉、違いが分かるかな？～」であった。

2月21日（日）10:00～12:30、河東コミセン調理室、1組1,600円（1組中に子ども1人追加の場合、600円を追加料金とした）4組10人（追加2人）が参加した。テーマは「アクアドームオリジナル！親子で寿司ケーキづくり教室～ひなまつりにも、春のお祝いにも～」であった。

「男のクッキング」は、定員15人で運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養に

ついて学ぶ、男性のみの調理実習である。男性の多くは自炊の習慣がなく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることが必要と考えられるため実施している。参加者は60代～80代である。計4回実施し53人の参加であった。

#### 〔 手作り工房 〕

日本古来の食の伝統を若い世代へ伝えることや、食と運動のつながりを伝え、利用促進へとつなげることを目的とした。

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| 第1回：7/10（金）「蒟蒻作り教室」    | 17人 |
| 第2回：10/02（金）「ゆず胡椒作り教室」 | 35人 |
| 第3回：1/29（水）「キムチ作り教室」   | 47人 |

### スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。24時間EKIDENや12時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

#### 〔 第21回24時間EKIDEN 〕 （5月9日～10日）

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。芝生広場の外周（850m）を1チーム（5～30人）で一本のタスキをリレーしながら、24時間（休憩自由）に走った距離を競う大会である。

有料参加は75チーム（1,703人：一般、1,306人 中・高校生、218人 小学生、179人）あり、前年度74チーム（1,585人）より1チーム多く、参加者118人の増加で開催した。

当日は、義捐金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。大会を通じて、得た義捐金は「東日本大震災ふくしまこども寄付金」に寄付した。

#### 〔 第27回ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 （10月18日）

雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを1日で終了するためにペアの参加で開催した。55ペア（男子Bクラス21ペア、Cクラス9ペア、女子Bクラス10ペア、Cクラス15ペア）、110人で大会を実施した。前年度に比べ、1ペア参加者が増加した。

#### 〔 第24回12時間耐久スイム 〕 （11月14日～15日）

温水プールの営業時間外の夜間（22:00～10:00）を使い開催している。温水プールが7コースで35チームしか参加できないという制限はあるものの、九州各地から根強いリピーターが受付初日から申込みのような人気のある大会である。

本年度は32チーム（鉄腕の部8チーム、エンジョイの部24チーム）247人であった。前年度よりも10人多かった。

アクアドームでもウエルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加し、日頃のトレーニングの成果を競技とは関係なく、楽しんでいる大会である。

### [ バスハイク ]

仲間づくりをメインにした健康づくりセミナーと運動の実践そして食事と温泉を利用した休養という新しいタイプのトータル的な健康づくりの提案を行なうことで多くの市民に健康づくりを始めるきっかけとなることを目的とした。

第29回：日時：5月27日（水）目的地：福岡県田川郡添田町

参加者42人（男性：8人、女性：34人）

第30回：日時：11月04日（水）目的地：福岡県糸島市

参加者44人（男性：5人、女性：39人）

### [ グラウンドゴルフ ]

10月16日（金）、宗像ユリックス芝生広場にて「第5回宗像ユリックスカップグラウンドゴルフ」を開催した。

144人定員で募集した。参加費600円とし、124人の参加があった。

### [ ウォーキングイベント ]

健康づくり課作成のウォーキングマップの認知度を上げ、ウォーキングの楽しさや効果を知っていただくために行った。

開催日：3月24日（木）9：00～13：00

参加費：210円（飲み物、保険料込）

参加人数：10人

ルート：ウォーキングマップ Vol.6 癒しの風景が広がる南郷地区（偉人めぐりコース）

### [ ランニング練習会 ]

これからランニングを始めようとしている人、ランニング愛好者に対して、音楽を使用したピッチ走法、ランニングのための筋力トレーニング指導及び情報提供を行った。

参加者数は、計224人であった。昨年度の231人より7人参加者が少なかった。さつき橋方面への20kmチャレンジランも行った。

## 公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

### アクアドーム

本年度も、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

第3期指定管理期間の2年目である本年度は、「宗像ユリックス総合公園条例」の公園施設使用料が改正され2年目を迎えた。値上げの影響もあり、プール利用者数の減少（7月から10月で2,500人）、ジム利用者数の減少（7月から8月で400人）で、夏季に3,000人が減少した（年間1,919人減、前年比99.0%）。

プールの利用人数減少は、年齢層別では男性の一般と高齢者と女性の一般、種別では男性の個人と70歳以上および女性の年間券個人の減少が大きかった。

アクアドームの年間利用者数は、平成23年度より4年連続の20万人を超えていたが、198,181人（前年比99.0%）であった。温水プールは、年間利用者数129,113人（前年比98.1%）、トレーニングジムは年間利用者数44,638人（前年比98.4%）、スタジオの年間利用者数24,430人（前年比104.6%）となった。

ウェルネスクラブ会員数は、40歳未満の入会者は24人と順調に推移し、市内類似施設との競合もあるが、総会員数は252人と9人減少した。また、芝生広場を活用した「グラウンドゴルフ」、調理実習の「男のクッキング」や「手作り工房」、ウォーキングバスハイク（春・秋）、ランニング練習会、健康づくり課作成のウォーキングマップを活用したイベントを企画し実施した。

スイミングスクールを実施していない7月8月に、「夏季限定ペアペアチャレンジ教室」「夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクア」「夏季限定水泳教室（初級クラス）」を実施した。

一般利用者の増加については、宗像3大学2高校の優待利用や、広報紙での告知強化などを積極的に行った。

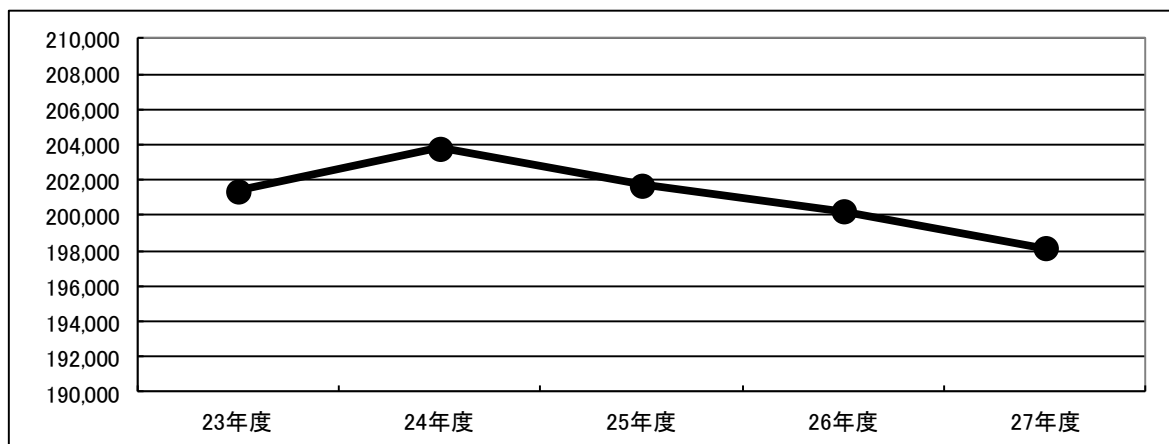
ゆ〜ゆ〜プールは、8月下旬までは天候に恵まれ好調であったが、8月25日の台風以降利用者数が伸びなかった。しかし、1日平均1,000人以上をクリアできた。

前年から引き続き、市健診の結果において支援対象であり結果説明会に参加されなかった人への電話勧奨、特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導、特定保健指導の積極的支援および動機付け支援、介護予防事業（陸上、水中、栄養）、ウォーキングマップ作成を実施した。

【 アクアドーム利用者数 】

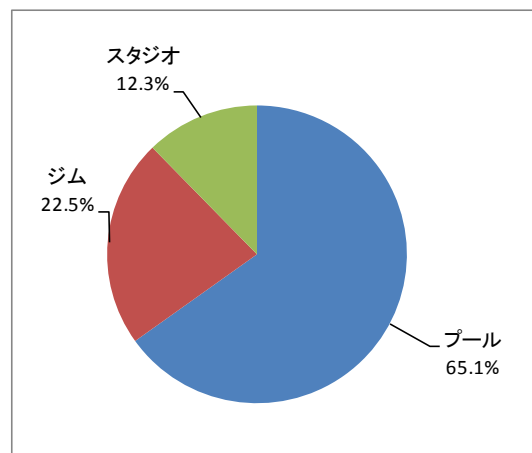
単位：人

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入場者数	201,388	203,798	201,712	200,266	198,181
対前年比	106.0%	101.2%	99.0%	99.3%	99.0%
対23年比	100.0%	101.2%	100.2%	99.4%	98.4%



■ 施設別利用人数アクアドーム年間利用者数 198,181 人のうち、プール利用者は 129,113 人であり、アクアドーム全体の約 65.1%を占めた。

施設別に 26 年度と比較すると、プール利用者数 2,451 人減 (98.1%)、ジム利用者数 708 人減 (98.4%)、スタジオ利用者数 1,074 人増 (104.6%) であった。その結果、アクアドーム全体では 2,085 人減で 26 年度比 99.0%であった。



■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 17.2%、年間券は 36.0%であり、スイミングスクール・ウエルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 43,404 人で全体の 33.6%となった。

トレーニングジム利用者の中では、ウエルネス会員の割合が 69.6%を占めた。

スタジオでは、宗像文化サークルを含めた一般利用 4,245 人 (17.0%)、教室・レッスン・エアロビクス 20,700 人 (83.0%) となった。

ゆ～ゆ～プール

本年度の営業は、7月4、5日と11、12日を先行営業し、通常営業は7月18日より8月31日の計49日間であった。

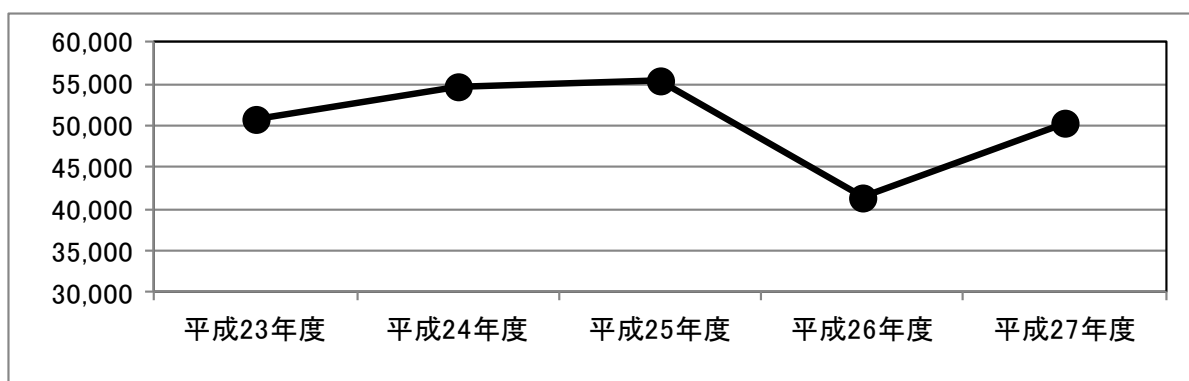
総入場者数は50,405人(1日平均約1,050人)で、前年度の41,430人(営業日数48日間、1日平均863人)と比べると8,975人(21.7%)の増加であった。

本年も特別企画として平日3時以降の入場料を半額にする「ゆ～涼み割引」を実施した。

ゆ～涼み割引の入場者は7,954人(1日平均165人)、お弁当プラン22団体で利用者は714人、アクアヌードル貸出は261件であった。

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	50,855	54,772	55,477	41,430	50,405
対前年比	97.5%	107.7%	101.3%	74.7%	121.7%



## パットゴルフ場

本年度利用者数は4,724人で、前年度に比べて338人減少した。近年の減少傾向に歯止めをかける為に、毎週火曜日の「シニアデー」、毎週土曜午前中の「親子ペアデー」を継続して行なった。しかし、お客様への認知度はまだまだ低く、現時点では大きな増加につながっていない。28年度は積極的な広報活動による企画の浸透と月例大会開催などでリピーターの育成をはかり、入場者増加傾向を維持していく。

[パットゴルフ利用者数]

(単位：人)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者数	5,578	5,487	4,738	5,062	4,724

## その他屋外施設

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがあるときに、あらかじめ臨時駐車場として確保している。また、平成19年にJR九州ラグビー部と宗像市の協定が締結され、多目的広場がメインの練習会場となっている。その他の利用としては、少年サッカークラブの練習などがある。

芝生広場・サーキットトレーニングコースは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校から遠足などで来園されている。土・日・祝日には家族連れの来園が多い。

パットゴルフ場隣りにあるわんぱく広場は、平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

プレイ広場では、ラジコンやスケートボードなどの利用がおこなわれている。



## 法人運営「組織・運営体制、財政運営」

### 全般／指定管理業務について

本年度は第三期指定管理の2年目であった。非公募で付託を受けた、宗像市民の期待を裏切ることのない管理運営を、本年度も続けてきた。

宗像ミアール音楽祭、アウトリーチ、ジュニアプラスなど宗像市が掲げた「音楽のあふれるまち」づくりに沿った活動を積極的に行った。また、南ゾーンを中心としたスポーツ・健康づくりについても、アクアドームの利用者が安定的に20万人を維持していることから、一定の評価を得ていると考える。

宗像ユリックスは、27年目を迎え、施設の老朽化が目立ってきていることから、今まで以上に各設備の点検や修理に努め安全・安心なユリックスづくりを目指して日々の管理に努めた。

今後も宗像ユリックスの運営を通じ、宗像市の文化・スポーツ・健康づくりに貢献して行く。

### 運営体制

本年度の事務局人員体制は前年度と同様である。

植栽管理の人員体制が整備され、管理業務が充実してきている。

昨年の労働基準法の改正に伴い嘱託・臨時職員の雇用条件を変更するため、組織体制の検討をおこなっていく必要がある。

[職員数]

(単位：人)

	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末
財団職員	37	34	34	34	34
市派遣	2	2	2	1	1
プロパー	4	4	4	4	4
専任	3	3	4	5	5
嘱託	8	7	6	7	8
臨時	20	18	18	17	16
合計	37	34	34	34	34
対前年度比	102.8%	91.9%	100.0%	100.0%	100.0%
対23年度比	-	91.9%	91.9%	91.9%	91.9%

- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| ・平成22年4月 | 第2期指定管理（1年目）、指定管理区域分割                |
| ・平成25年4月 | 第2期指定管理（4年目）、指定管理区域分割、<br>公益財団法人への移行 |
| ・平成26年4月 | 第3期指定管理（1年目）                         |
| ・平成27年4月 | 第3期指定管理（2年目）                         |

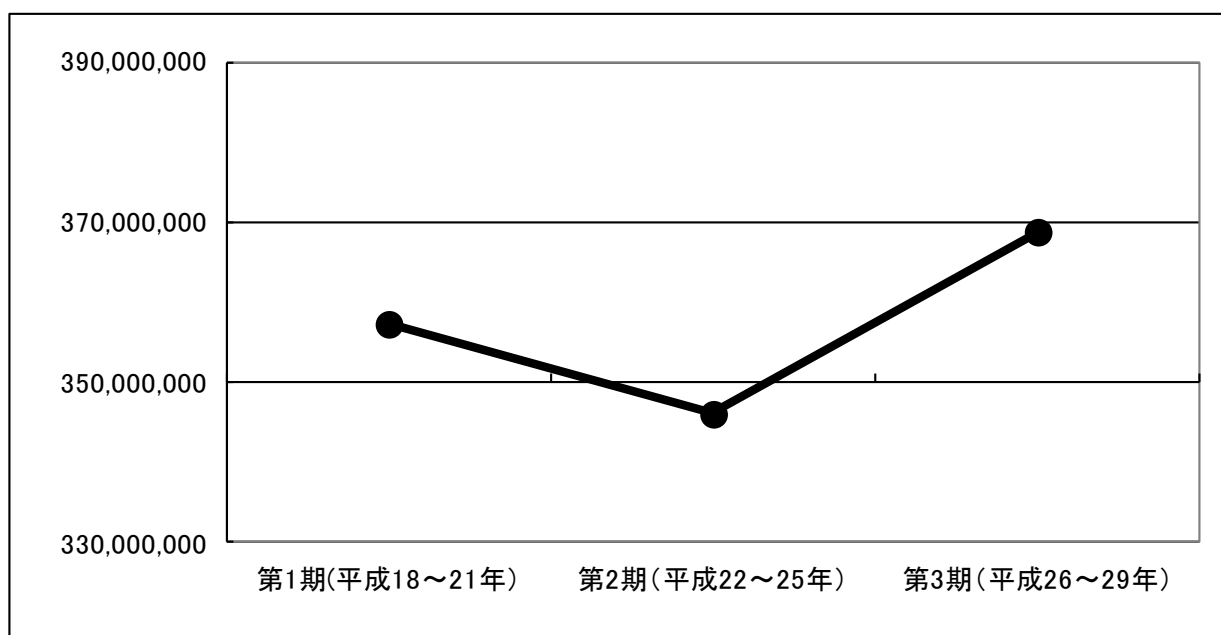
## 財政運営

平成 27 年度は 53,132 円の黒字決算である。

収入については、指定管理料は前年と同様となっているが、利用料金については本館を含む北ゾーンで 490 万円の減収、アクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールの南ゾーンは 463 万円の増収となった。また、入場料収入が 94 万円増、協賛金収益 125 万円増、受託補助金 183 万円増となった。

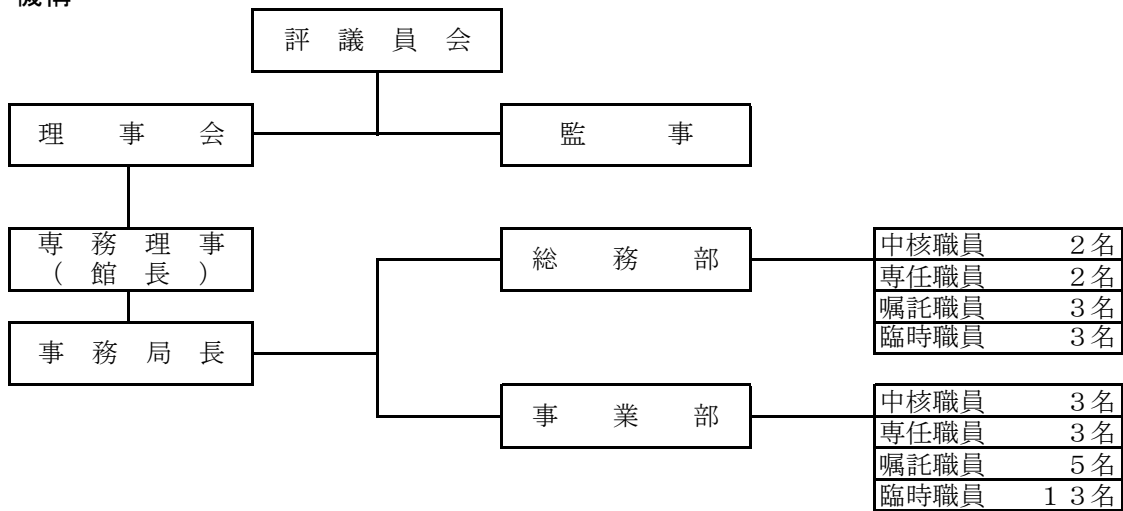
支出については、ミアーレ音楽祭の関係で委託費が 877 万円の増、広告宣伝費が 337 万円増額となっている。また管理経費として、燃料費が 397 万円の減、光熱水費は 397 万円減となった。また、修繕費については施設の老朽化の関係で 101 万円の増となった。

	第1期 (平成18～21年)	第2期 (平成22～25年)	第3期 (平成26～29年)
指定管理料	357,308,000	346,083,000	368,828,000
対第1期	-	96.9%	103.2%



(平成28年3月31日現在)

機構



職員体制 (34名)

職名	中核職員	専任職員	嘱託職員	臨時職員
人数	5名	5名	8名	16名

※中核職員には宗像市からの派遣出向職員1名を含む

役員の構成

評議員	理事	監事
5名	7名	2名

職名	氏名	職名
評議員	菊川 律子	放送大学 福岡学習センター所長
評議員	蔵野 八郎	前 株式会社電気ビル代表取締役社長
評議員	寺尾 慎一	国立大学法人福岡教育大学学長
評議員	久芳 昭文	宗像市副市長
評議員	山下 恵美子	元宗像市教育委員

理事長	立部 祐道	僧侶 (鎮国寺名誉住職)
専務理事	松永 年生	宗像ユリックス館長
理事	福崎 常喜	宗像市市民協働環境部長
理事	福本 義雄	宗像市社会福祉協議会会長 宗像地区事務組合水道事業運営委員会副会長
理事	池山 喜美子	元(社)全国消費生活相談員協会理事
理事	森 千鶴子	フリーライター、福岡教育大学非常勤講師
理事	江口 祐司	日本赤十字九州国際看護大学 事務局長

監事	長井 賢祐	元福岡県経営者協会専務理事
監事	堤 一成	宗像市経営企画部 財政課長